

## 日本木材学会中国・四国支部

### 第 28 回 (2016 年度) 研究発表会 (松山)

主催：一般社団法人日本木材学会中国・四国支部

共催：森林バイオマス利用学会、公益社団法人日本木材加工技術協会中国支部

会期：2016年9月12日(月)～13日(火)

会場：愛媛大学城北キャンパス共通講義棟 A、グリーンホール

(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学城北キャンパス)

日程：2016年9月12日(月)

9:00～ 受付  
9:30～12:00 研究・技術発表(口頭)  
13:00～14:00 研究・技術発表(展示)  
14:30～17:00 公開講演会  
18:00～20:00 研究交流会・表彰式

会場：国際ホテル松山

(〒790-0001 松山市一番町1-13 TEL 089-932-5112)

### 森林バイオマス利用学会

日程：2016年9月13日(火)

8:00 受付(愛媛大学城北キャンパス正門)

8:30 出発

9:30～10:30 森林バイオマス利用学会総会

会場：愛媛大学地域協働センター西条

総会、論文賞・功労賞表彰

10:40 森林バイオマスセミナー出発

11:00 アサヒビール工場見学

12:00～13:00 昼食(アサヒビール園)

13:30～14:45 株式会社サイプレス・スナダヤ見学

15:00 JR 壬生川駅(一部解散)

16:30 解散(松山市内→愛媛大学城北キャンパス正門)

## 研究・技術発表プログラム

### 口頭発表 A 会場 講 32

座長 市浦英明 (高知大学)

- A01 09:30~09:45 Isolation of bioactive compounds from *Distylium racemosum*  
(Faculty of Agriculture, Ehime University)  
○Amalia Indah Prihantini and Sanro Tachibana
- A02 09:45~10:00 Potential antidiabetes constituents from an endophytic fungus *Xylariaceae*  
*sp* QGS 01  
(Faculty of Agriculture, Ehime University)  
○Anastasia Wheni Indrianingsih and Sanro Tachibana
- A03 10:00~10:15 Combination of nutrient amendment and kapok impregnated with fungal  
co-culture (*Polyporus sp* S133 and *Pestalotiopsis sp* NG007) for crude oil  
removal at contaminated sea sand.  
(Faculty of Agriculture, Ehime University)  
○Ade Andriani, Sanro Tachibana

座長 伊藤和貴 (愛媛大学)

- A04 10:20~10:35 MALDI-TOF MS を用いた担子菌類同定における菌糸成長ステージ  
の影響  
(高知工科大) ○岩本孝樹、浜田亮介、堀沢栄
- A05 10:35~10:50 感熱紙の酵素糖化基材としての適正評価に関する研究  
(島大院理工) ○吉延匡弘、小笠原隆文、吉原 浩、白杵 年  
(株) 新興製作所) 福岡昭弘

座長 吉延匡弘 (島根大学)

- A06 10:55~11:10 界面重合反応および分子インプリント法を活用した水環境浄化シー  
トの開発  
(高知大院農) ○川原 悠、市浦英明、大谷慶人
- A07 11:10~11:25 インドネシア・ジャワ島産未活用果実抽出物の DPPH ラジカル消  
去活性および $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害活性物質  
(香川大農) ○松野英紀、片山健至、鈴木利貞、  
(IPB) Dimas Andrianto
- A08 11:25~11:40 人工乾燥における各工程が木材の耐シロアリ性に及ぼす影響  
(徳島農林セ) ○橋本 茂、(京大生存研) 吉村 剛、  
(九大院農) 藤本登留

### 口頭発表 B 会場 講 31

座長 藤本高明 (鳥取大学)

- B01 09:30~09:45 ウッドセラミックスの建築内装材への利用  
(鳥根職業能力開発短期大学校) ○小川和彦、  
(近畿大学) 岡部敏弘
- B02 09:45~10:00 島根県産スギ心去り材および心持ち材の乾燥・強度特性の比較  
(鳥根中山間地研セ) ○後藤崇志、福島 亮、山根宏之  
(鳥根西部農林振セ) 中山茂生、  
(鳥根大総合理工、文化財調査C) 古野 毅
- B03 10:00~10:15 クヌギ板材利用技術の開発  
(愛媛林研セ) ○横田由香

座長 後藤崇志 (鳥根中山間地研セ)

- B04 10:20~10:35 ヒノキ・スギ単板のサンディング加工がぬれ性に及ぼす影響  
(鳥取林試) ○川上敬介 ((株) オロチ) 清水淳一  
(鳥大農) 藤本高明
- B05 10:35~10:50 はい積み保管した燃料用丸太の含水率変動 (第 3 報)  
— 冬季に被覆したはい積み丸太の水分変動 —  
(鳥取林試) ○森田浩也、桐林真人
- B06 10:50~11:05 大径化したスギ並材の製材としての利用技術 (第 1 報)  
— 2 丁取りした心去り平角材の性能評価 —  
(鳥取林試) ○半澤綾菜、川上敬介

座長 川上敬介 (鳥取林試)

- B07 11:10~11:25 製材方法の違いがヒノキ板乾燥材の寸法変化に及ぼす影響  
— 実大試験による評価 —  
(愛媛林研セ) ○中川美幸、横田由香
- B08 11:25~11:40 振動スペクトルに基づいた立木材質の非破壊推定  
(鳥大農) ○藤本高明、(林木育種センター) 織辺俊爾
- B09 11:40~11:55 異なる水分環境で生育した樹木の木材性質変動解析 (第 1 報)  
ヒノキの容積密度数の変動  
(鳥大農) ○堤 晴彩、山岡純平、芳賀弘和、藤本高明

展示発表 (13:00~14:00) 講 23

- P01 異なる水分環境で生育した樹木の木材性質変動解析 (第2報)  
ケヤキの容積密度数の変動  
(鳥大農) ○山岡純平、堤 晴彩、芳賀弘和、藤本高明
- P02 樹木抽出物の抗酸化性について  
(高知大院農) ○樋口翔一、大谷慶人、市浦英明
- P03 引張加力下における近赤外スペクトルを用いた比動的ヤング係数の推定  
(鳥大農) ○杉井詩穂、山縣直弥、藤本高明
- P04 イオン液体を活用した活性炭含有紙の耐水性と水環境浄化能  
(高知大院・農) ○廣瀬友香、市浦英明、大谷慶人  
(河野製紙(株)) 谷口健二
- P05 ヒノキ CLT のせん断強さにラミナ幅及び幅はぎ接着が与える影響について  
(愛媛県林研セ) ○玉置教司、中川美幸  
(広島総研) 藤田和彦
- P06 応力波による丸太の強度性能推定に対する含水率の影響  
(鳥取林試) ○桐林真人
- P07 フェノール樹脂を含浸したアカマツとタケの流動成形時の荷重-変位曲線  
—流動成形体の厚さと荷重、変形量の検討—  
(広島総研) ○山本 健、佐々木秀和、竹保義博、古山安之
- P08 加圧処理した半割丸太材の天然乾燥による水分経時変化 (第2報)  
—積上げ位置別の水分経時変化と長さ方向の含水率傾斜—  
(岡山農総セ森林研) ○小川 裕、河崎弥生、野上英孝
- P09 CLT を使用した集合住宅における温熱環境の実態調査 (1)  
(岡山農総セ森林研) ○金田利之、野上英孝
- P10 白色腐朽菌の混合培養によるセルロース系原料からのエタノール生産  
—MnP 生産における酸素の影響—  
(高知工科大) ○井上瑛絵、安藤瑛絵、安藤広将、堀沢 栄
- P11 スギ枝における水分通導の解明  
(愛大農) ○杉元宏行、杉森正敏、(林野庁近中局)田口高行
- P12 転倒防止の観点から見た木材の滑り評価  
—皮膚モデル物質と木材の静止摩擦係数測定—  
(愛大農) ○難波勇人、倉重美寿々、杉元宏行、杉森正敏
- P13 PEG 含浸木材の熱のみでの自己修復機能の発現  
(愛大農) ○國松耕市郎、杉元宏行、杉森正敏
- P14 樹脂含浸木材の光透過性に及ぼす組織構造の影響  
(愛大農) ○力武拓也、杉元宏行、杉森正敏
- P15 湿度条件の異なる熱処理を施したヒノキ材の水分吸着  
(愛大農) ○川渕早希子、杉元宏行、杉森正敏

公開講演会  
グリーンホール

テーマ

「四国のセルロースナノファイバー利用の取組」

14:30～15:30

「セルロースナノファイバーの特性と用途展開に向けた取り組み」

内村浩美

15:30～16:30

「セルロースナノファイバーの特徴と利用方法の検討」

日浅 祥

16:30～17:00

質疑応答

2016年9月12日(月)

14:30～17:00